

生協労組
おかやま

563人の参加で要求提出！



生協労組おかやまは、2月17日(火)に09年春闘要求提出団交を行いました。団交には、セパ合わせて563名の仲間が参加しました。労理それぞれのあいさつの後、書記長が「セ1万円、パ70円」の賃上げや一時金、マネジメント改革などを柱とした春闘要求書を説明しました。今回の団交では、急速な景気悪化の中で一段と厳しくなっている生協の経営状況について労働組合としても一定の認識の共有化が必要との判断から、理事会からも経営の現状についての文書を出させ、説明を受けました。

理事会は、「通常は12月までは黒字だが、今年は1月終えて購買事業は9,400万円の赤字。年間で24億円の供給高が減

り、これは2店舗分がなくなった計算になる。本来は人件費も含めて経費も減らないと事業の効率は上がらない。改めて経費対策が必要になっている」と説明。また、09年度の予算と方針について「一次案は部内報で少し説明しているが、仲間づくりを中心に...供給高は101%増やすという予算案にしているが...予算を2%下回ると減損処理ができない。現在二次案の検討をしている」と苦しい予算編成の実情を述べました。さらに、09春闘について「今の経営状況では、賃下げをお願いしないといけませんが、この時点では不透明...、定昇を行なったうえで一時金については平均年収を維持するレベルで予算化したい。ただ、経営状況でさらに引き下げをお願いすることはありうる」と厳しい姿勢を示しました。

労働者の雇用確保を最優先に！ 生協労組おかやま統一物流問題で理事会と団交！

2010年の3月から尾道にCSネットが建設中の物流センターが稼動することから生協労組おかやまでは、2月19日(木)に統一物流問題についての説明団交が行われました。団体交渉には、対象となるパート68名が参加しました。

理事会は、冒頭に「長年働いてこられた職場がなくなる提案をせざるをえない事についてお詫びしたい」と陳謝したうえで、「組合員のくらしに貢献するためにもアイテム拡大が必要で、現在の商品センターは老朽化もすすんでおり拡張性に乏しい。また、現在の経営状況では大きな設備投資はできない」と統一物流への参加の必要性を訴えました。また、雇用については「対象になる104人の雇用確保を最優先に今後労働組合とも相談しながらすすめたい」と説明しました。

職場からは、「対象者には、週30時間・20時間・16時間の人がいるが、具体的にどう契約時間を守るのか」「職種の変更は不安。どんな仕事の中味なのか具体的に教えて欲しい」などの意見が出されました。理事会は「まずは、トータルの契約時間をどう守るかを第1に考えている。具体的には様々な組み合わせがあり意見を参考に検討したい」と応えました。

